

NS型ネオスパン (イソシアレート品)	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 金属胴縁工法	ビス	横・縦	606mm以下

## 2) 基本構成図

## ロッキング構法

16mを超え、30m以下の物件への施工(※)は、

●NS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスまで施工してください。

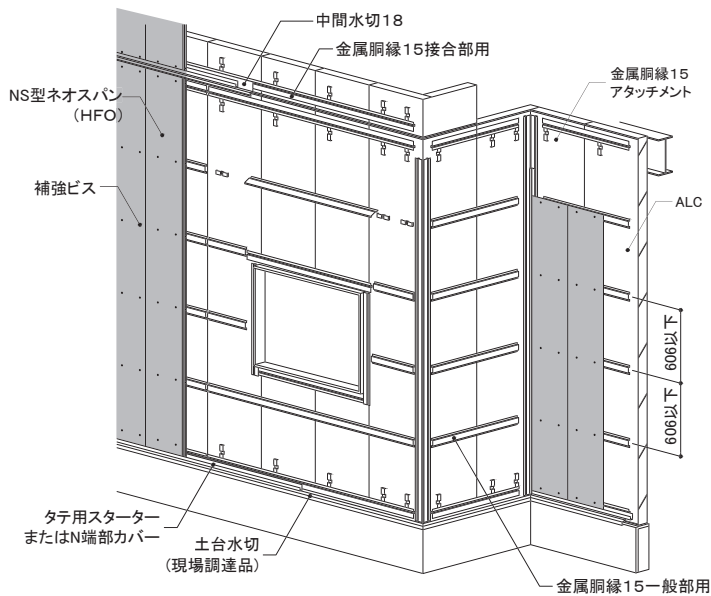
●金属胴縁ごとに、嵌合部以外に表面から補強ビスを2本留め付けます。ビス留め位置は下図の通りです。

始めから張り終わりまで全て補強ビスを施工してください。

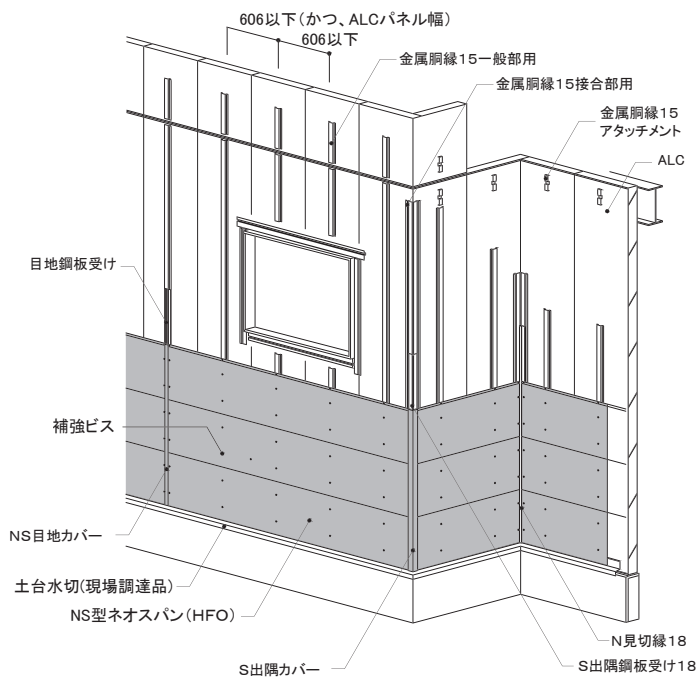
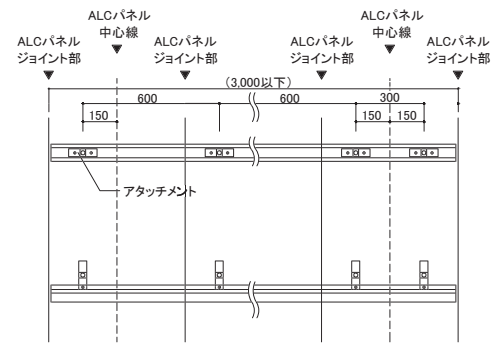
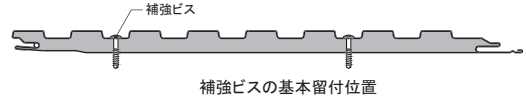
※建設地の基準風速によっては16m以下でも補強ビスが必要になります。P265の対応表をご確認ください。

※補強工法ではNS型ネオスパンは一枚ずつ、下地を確認しながら補強ビスを施工してください。先に一面を張り上げ、後から補強ビスを施工すると、下地が見えないため、打ち外しやアタッチメント固定アンカー、胴縁固定ビスへの干渉による施工不具合を招きます。

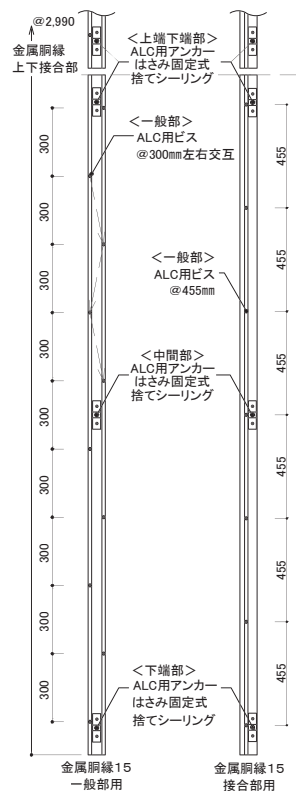
※補強ビスがアタッチメント固定アンカーや胴縁固定ビスにぶつかるおそれがある場合は、補強ビスの留め付け位置をずらして施工してください。



縦張り施工



横張り施工



外壁リフォームの設計

事前調査の方法

RC造  
金属・木胴縁工法

RC造外断熱  
金属胴縁工法

RC造  
専用ブラケット工法

S造(ALC)  
金属・木胴縁工法

RCタイル外壁への  
リフォーム工法

NS型ネオスパン  
補強工法